

平成22年 7月29日

石川 遼 のような 生命 保 険 へ。
予 期 せ ぬ ト ラ ブ ル に リ カ バ リ ー シ ョ ッ ト ！

順風ライフの発売について

第一生命保険株式会社（社長 渡邊 光一郎）では、平成22年 8月20日より、ライフステージに応じて幅広く、柔軟な“備え”が用意できる「生涯設計型の保険」として「順風ライフ」が新登場します。本商品は、ご好評いただいている「順風人生」をさらに進化させ、付加できる医療関係特約については医療の進歩や実態にあわせてバージョンアップするものです。

新医療特約である8大生活習慣病入院特約Dにつきましては、従来の生活習慣病による入院に備える特約と比べ、「腎疾患」・「肝疾患」・「すい疾患」による所定の生活習慣病による入院を新たに支払対象としました。「所定の生活習慣病になったとき、入院給付金が支払われる特約」の中で、「すい疾患」が給付対象となるのは、生命保険協会加盟の生命保険会社の中で初めてです。



商品パンフレット
（イメージ）

この「順風ライフ」では、生涯設計の観点から「順風人生」の、万一の場合の保障に加えて、3大疾病などの充実した保障を付加できる特徴を活かしつつ、老後の備えや貯蓄ニーズにも対応できるよう、ご加入時およびご加入後の商品設計の自在性を高めました。

また、医療の進化や実態を反映した、新医療特約の発売により、当社最新の医療保障をニーズにあわせて組み合わせるご準備いただけるようにしました。

このように、「順風ライフ」は、生活習慣病での入院や3大疾病などで働けなくなった場合など、予期せぬトラブルにも幅広く対応が可能で、老後の備えや貯蓄ニーズ、万一の場合など、お客様のさまざまなライフステージにお応えできる新商品です。

第一生命では、「いちばん、人を考える会社になる。」というグループビジョンのもと、「生涯設計」の考え方にに基づき、これからもお客様のライフステージや時代の変化に応じた「良質な商品」を引続き提供していきます。

順風ライフ 登場 ~従来の「順風人生」をバージョンアップしました!~

当社では平成20年10月に、「堂堂人生」、「主役人生」となる主力商品として「順風人生」を発売しました（順風人生は終身保険を主契約とし、お客さまのニーズにあわせて、各種特約を選択して付加するかたちの商品です）。今回発売する「順風ライフ」は、以下のポイントを取り込み「順風人生」をバージョンアップさせた商品です。

ポイント1 加入時の設計の自在性がアップ!

「順風ライフ」では、ベースとなる終身保障について、ご加入時にお選びいただける金額を50万円から可能としました。これにより、終身保障の保険金額を低額に設定し保険料を抑えたうえで、シールド特約やスーパーリライ、インカムサポート等の生存保障性特約、医のいちばんNEO等の医療関係特約を付加して、「生きていくための保障」を充実させた設計も可能となります。

ポイント2 加入後のライフステージに応じた終身保障の確保が可能に!

「順風ライフ」にご加入後、一時払保険料のお払い込みにより、健康状態にかかわらず定期保険特約等の範囲内で終身保障を増やすことを可能としました。一時払保険料は10万円から投入が可能です。これにより、小口資金や退職金等を活用した貯蓄性の向上や老後を見据えた一生涯の保障の確保・充実も可能となりました。

ポイント3 お客さまの加入期待に応える医療給付の実現!

同時に発売する、新総合医療特約D（H22）（「医のいちばんNEO」）、8大生活習慣病入院特約D、女性特定疾病入院特約D（H22）については、1入院の支払限度について「60日型」を新設することで、より低廉な保険料での医療保障の準備を可能とし、また、医療の進歩や実態に合わせ、より分かりやすい給付内容としました。

このように、設計の自在性が増した「順風ライフ」では、どの年代のお客さまにも幅広くニーズに合わせた形でご加入いただける内容となり、また、新医療特約の付加により、より付加価値の高い、総合的な保障の準備が可能となりました。

順風ライフ 仕組み図

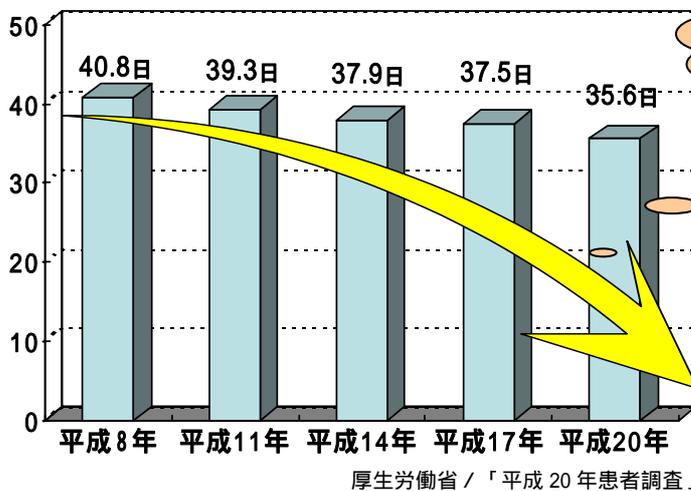


【保険料の安さを追求！】

医療保険制度の改革や医療技術の進歩などにより、年々、入院時の平均在院日数は短期化しています。平成20年における平均在院日数は35.6日、入院が長期になりやすい70歳以上の高齢者層においても50.2日まで短期化しています。この傾向を受け、病気やケガによる入院に対して給付金を支払う現行の「医のいちばん」を改訂した「医のいちばんNEO」では、1入院の支払限度を60日とする「60日型」の選択も可能として、保険料負担の軽減を図るとともに、入院の短期化を反映させた最新のデータを用いて保険料の見直しを図りました。

8大生活習慣病入院特約D、女性特定疾病入院特約D（H22）についても同様に「60日型」を新設しました。

< 退院患者の平均在院日数の推移 >



入院日数は短期化傾向！

さらに・・・
全患者の60日以内の入院占率は90%を超えています！

「60日型」でほとんどの入院がカバーできます！

【医療の実態にマッチし、お客さまに分かりやすい給付の実現！】

入院を複数回した場合、現行の「医のいちばん」では同一の原因による180日以内の再入院については、1回の入院とみなすこととしております。「医のいちばんNEO」では、“入院給付金がいくら支払われるのか”といった点についてお客さまにも分かりやすい取扱いとするため、入院を複数回した場合は、原因を問わず、病気・ケガそれぞれ1回の入院とみなして、入院日数を通算してお支払いすることとし、退院日から再入院までの期間が120日を超える場合には新たな入院としてお取り扱いします。

放射線治療については、技術の進歩・多様化・適用の拡大が続いています。このような状況を踏まえ、「医のいちばんNEO」においては、放射線治療を受けた場合には、これまでの「医のいちばん」における放射線量の条件を撤廃し、放射線総量を問わず放射線治療給付金をお支払いするスキームとしました。（なお、放射線治療給付金は60日に1回のお支払いとなります。）

正式名称		新総合医療特約D (H22)(販売愛称「医のいちばんNEO」)			
給付内容	給付金名	支払事由		支払額	
	災害入院給付金	ケガの治療のために、1日以上入院(日帰り ^(注) を含む)をしたとき 入院給付金をお支払いできない場合があります。たとえば「治療のための入院」に該当しないときなど、お支払いできません。「治療のための入院」に該当しないときは、美容上の処置、正常分娩のための入院などです。		入院給付金日額 × 入院日数	
	疾病入院給付金	病気の治療のために、1日以上入院(日帰りを含む)をしたとき 災害入院給付金同様、「治療のための入院」に該当しないときなど、お支払いできないときがあります。		入院給付金日額 × 入院日数	
	手術給付金	ケガや病気の治療のために、公的医療保険の手術料の算定対象となる手術または先進医療に該当する手術を受けたとき 公的医療保険の手術料の算定対象であっても軽微な手術(皮膚切開術・創傷処理・抜歯手術・涙点プラグ挿入術・鼻腔粘膜焼灼術・歯科医師のみが行うことができる手術など)はお支払対象外となります。		$\frac{\text{入院給付金日額}}{20}$ $\times 20$ $\times 5$	
放射線治療給付金	ケガや病気の治療のために、公的医療保険の放射線治療料の算定対象となる放射線治療または先進医療に該当する放射線治療(温熱療法を含む)を受けたとき 放射線の照射量にかかわらずお支払いします。(60日以内の放射線治療については1回のみのお支払となります)		入院給付金日額 × 10倍		
支払限度の型	支払限度の型	給付金の種類	1回の入院について支払う日数の限度	支払う日数の通算限度	
	60日型	災害入院給付金 ・ 疾病入院給付金	各60日	各1,095日	
	120日型		各120日		
	240日型		各240日		
<p><参考> 「8大生活習慣病入院特約D」、「女性特定疾病入院特約D(H22)」についても、1回の入院について支払う日数の限度を60日とする「60日型」を新設し(その他「120日型」「240日型」があります)通算支払限度については、いずれの型においても1,095日とします。</p>					
契約年齢範囲	3歳～70歳				
入院給付金日額	最低2,000円～最高20,000円(1,000円単位)				

(注)「日帰り入院」とは、入院日と退院日が同一の日である場合のことです。お支払対象となる「入院」に該当するかどうかは、「入院料等」の支払いの有無などを参考に当社が判断します。(例えば、医療機関の領収証などで確認します。)

【対象疾患を大幅拡大!】

生活習慣病による入院に対して給付金をお支払いする、現行の特約「新生活習慣病特約D」に比べ、「腎疾患」・「肝疾患」・「すい疾患」を新たに給付対象として追加し保障内容を拡大しました。まさに、「あとすこしの(備えが)かんじん」です!

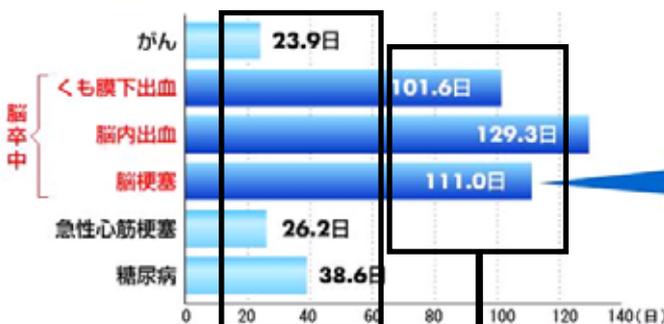
	種類	支払対象の代表的な疾患例	推計入院患者数
あ と す こ し の 備 え が かん じん	悪性新生物	胃がん、肺がん、乳がん、上皮内がん、皮膚がん など	約14.1万人
	糖尿病	糖尿病性網膜症、糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症 など	約2.6万人
	すい疾患 NEW	慢性膵炎、急性膵炎 など	約0.2万人
	高血圧性疾患	高血圧性心疾患、腎血圧性高血圧症 など	約0.8万人
	心・血管疾患 NEW	急性心筋梗塞、慢性リウマチ性心疾患、大動脈瘤、大動脈解離 など	約6.2万人
	脳血管疾患	脳梗塞、くも膜下出血、脳内出血 など	約20.0万人
	肝疾患 NEW	ウイルス肝炎、アルコール性肝疾患、肝不全、慢性肝炎、肝硬変 など	約1.3万人
	腎疾患 NEW	糸球体腎炎、慢性腎不全、腎盂腎炎、腎結石、尿管結石 など	約3.4万人

推計入院患者数：厚生労働省 / 「平成20年 患者調査」

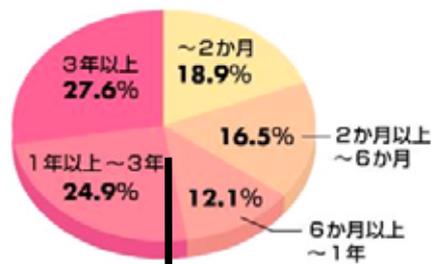
【入院が長期化する生活習慣病に備えて合理的に保障を確保!】

入院の短期化は年々進んでいますが、生活習慣病の中には、脳卒中のように入院が長期化するものもあります。「8大生活習慣病入院特約D」では、このような医療の現状を踏まえ、お客さまのニーズに合わせて「医のいちばんNEO」と組み合わせることで、短期入院・長期入院への備えを合理的に実現できるようになりました。

●疾病別退院患者平均在院日数 厚生労働省 / 「平成20年患者調査」



●脳梗塞の入院日数別割合 厚生労働省 / 「平成20年患者調査」



「入院期間の短期化」には「60日型」で対応
 長期にわたる生活習慣病での入院が心配な方は、「120日型」
 さらに長期におよぶ入院に備えたい方は、「240日型」

< 医のいちばんNEO と 8大生活習慣病入院特約D との組み合わせ >

入院給付金の支払限度について 選べる組み合わせ	医のいちばんNEO		8大生活習慣病入院特約D		
	60日型	60日型	120日型	240日型	
	120日型	120日型		240日型	
	240日型	240日型			

・保険料例

「順風ライフ」設計例

定期保険特約	1,000万円	
終身保険（「順風ライフ」主契約）	50万円	70歳 主契約払込満了
 EのいちばんNEO	日額1万円	
 8大生活習慣病入院特約D	日額1万円	
女性特定疾病入院特約D（H22）		
 SHIELD U  SUPER LIF	100万円	
 インカムサポート	120万円・終身	

加入

特約更新

<主契約> 5年ごと配当付終身保険50万円（70歳払済・平準払込方式）

<特約> 5年ごと配当付定期保険特約1,000万円、5年ごと配当付特定状態収入保障特約〔インカムサポート〕120万円（終身年金）、5年ごと配当付特定疾病保障定期保険特約〔シールド特約〕100万円、5年ごと配当付障害保障特約〔スーパーライ〕100万円、新総合医療特約D（H22）〔医のいちばんNEO〕（60日型）日額1万円、8大生活習慣病入院特約D（120日型）日額1万円、保険料払込免除特約（H13）

特約は10年更新型

女性のプランは、8大生活習慣病入院特約Dにかえて女性特定疾病入院特約D（H22）（60日型）1万円を付加

保険料（月払（口座振替）） 【ご契約当初10年間】

	男性	女性
30歳	12,778円	14,352円
40歳	21,129円	20,577円
50歳	40,568円	32,172円

特約更新後の保険料は、更新日現在の被保険者の年齢および保険料率によって計算します。したがって、特約更新前後で同じ保障内容であったとしても、更新後の保険料は更新前の保険料とは異なります。

・その他

【特定難病特約D（難病サポート）の販売停止について】

「難病サポート」については厚生労働省が定める特定難病を発病し、その診断基準に該当した場合に特定難病給付金をお支払いすることとしております。平成21年10月より厚生労働省が定める特定難病に新たに11疾患が追加されたことを踏まえ、平成23年1月より、新契約付加および中途付加のお取扱いを停止します。なお、すでにご加入のお客さまについては、平成23年1月以降の更新分より保険料率を改定させていただきます（更新前の通知にて、更新後の保険料をご案内させていただきます）。

以上

この資料は平成22年8月20日より販売する商品（特約）の概要を説明したものであり、ご契約にかかるすべての事項を記載したものではありません。また、特約は主契約に付加してご契約いただきますので、単独でご加入いただくことはできません。ご検討にあたっては専用のパンフレットおよび「保障設計書（契約概要）」など会社所定の資料を必ずお読みください。また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」、「ご契約のしおり」、「約款」を必ずお読みください。

（登）C22H0688（H22.7.28）